



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社 エフテック 上場取引所 東
 コード番号 7212 URL http://www.ftech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 祐一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員 管理本 (氏名) 青木 啓之 TEL 0480-85-5211
 部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	107,511	18.4	3,902	28.7	3,248	45.6	1,969	186.5
29年3月期第2四半期	90,801	△3.4	3,033	43.4	2,230	6.1	687	63.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,327百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △5,474百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	114.89	105.44
29年3月期第2四半期	44.77	36.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	151,136	54,256	25.2
29年3月期	144,420	49,732	23.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 38,087百万円 29年3月期 33,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	11.1	8,200	2.0	7,100	△1.6	4,400	9.0	245.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	18,712,244株	29年3月期	16,760,425株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	33,769株	29年3月期	33,734株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	17,141,785株	29年3月期2Q	15,356,266株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想と実績の差異並びに業績予想の修正に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想と実績の差異並びに業績予想の修正に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気回復基調が続きました。米国では個人消費及び企業収益が引き続き堅調に推移しております。欧州も金融緩和政策や新興国景気が下支えとなり穏やかな景気回復傾向にありました。中国では引き続き個人消費が景気を下支えし、その他新興国の景気も回復傾向にありました。

一方、日本経済においては、円安傾向や海外経済の回復に伴い企業収益の改善が進み、個人消費も底堅く、緩やかな景気回復基調が進みました。

このような中自動車業界においては、米国では、低金利、低ガソリン価格及び自動車メーカーによる販売奨励金の上昇はあったものの自動車販売は減少傾向にあり、中国では、自動車販売が回復の兆しを見せております。欧州においては、経済状況の堅調な推移を受け自動車販売も底堅く推移しております。日本では、個人消費の増加傾向を背景として自動車販売は堅調に推移しております。

こうした状況において当社グループは、平成29年4月より開始した第13次中期計画において「Back to Basics」「Challenge for New」を基本方針に掲げ、得意先に対し新たな価値を提供すべく活動しております。

財務面では、平成27年3月に発行した2020年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債について平成29年8月18日にコールオプションを行使し、前期末残高2,350百万円全額が株式に転換され、同額純資産が増加いたしました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、主要得意先の国内市場での生産増、中国市場での得意先販売の好調を受け、売上高107,511百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益3,902百万円（前年同期比28.7%増）、経常利益3,248百万円（前年同期比45.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,969百万円（前年同期比186.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

当社の主要得意先の生産台数の増加及び輸出販売の増加等により、売上高は13,393百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は935百万円（前年同期比231.8%増）となりました。

(北米)

北米市場の自動車販売の減少傾向を受け主要得意先の生産台数が減少しましたが、商品売上増加により売上高は64,322百万円（前年同期比18.9%増）となりました。損益は、新規受注製品の立ち上げに伴うコスト増及び高付加価値製品の生産完了により、営業利益は727百万円（前年同期比44.2%減）となりました。

(アジア)

中国市場では主要得意先の販売が好調に推移し、売上高は29,795百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益は2,297百万円（前年同期比51.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品、機械装置及び運搬具等の増加により、前連結会計年度末に比べ6,715百万円増加し、151,136百万円となりました。

負債は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比べ2,191百万円増加し、96,879百万円となりました。

純資産は、資本金、資本剰余金、利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に比べ4,523百万円増加し、54,256百万円となりました。

(3) 連結業績予想と実績の差異並びに業績予想の修正に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月9日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

①業績予想と実績の差異

平成30年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 103,000	百万円 3,000	百万円 2,700	百万円 1,100	円 銭 65.76
実績 (B)	107,511	3,902	3,248	1,969	114.89
増減額 (B-A)	4,511	902	548	869	
増減率 (%)	4.4%	30.1%	20.3%	79.0%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	90,801	3,033	2,230	687	44.77

差異の理由

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は円安影響を主要因として増収となりました。営業利益については、日本及びアジアでの主要得意先の生産数の増加、北米での商品売上の前倒し等により前回発表予想を上回る結果となりました。

②業績予想の修正

平成30年3月期 通期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 209,000	百万円 8,000	百万円 7,400	百万円 4,000	円 銭 239.14
今回発表予想 (B)	220,000	8,200	7,100	4,400	245.70
増減額 (B-A)	11,000	200	△300	400	
増減率 (%)	5.3%	2.5%	△4.1%	10.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	197,941	8,035	7,214	4,035	261.01

修正の理由

平成30年3月期の通期連結業績予想は、主要得意先の生産数増減と円安影響を織り込み上記のとおり修正しております。前回発表予想に比べて、売上高は円安影響及び日本とアジアにおける主要得意先の生産数増加影響等を主要因に増収となる見通しです。営業利益は北米での主要得意先の生産台数の低下、労働市場の逼迫等によるコスト増はあるものの、円安影響及び日本とアジアにおける増収影響等を主要因として増益となる見通しです。

為替レートにつきましては期中平均で1米ドル110.91を前提としております。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の様々な要因によるリスクや不確実性を含んでいるため、予想と実績は異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,719	6,773
受取手形及び売掛金	33,151	35,007
商品及び製品	5,883	4,875
仕掛品	4,228	5,030
原材料及び貯蔵品	8,533	10,191
その他	4,383	5,124
流動資産合計	61,899	67,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,937	18,910
機械装置及び運搬具(純額)	33,374	38,823
建設仮勘定	11,416	8,030
その他(純額)	10,948	10,649
有形固定資産合計	74,676	76,413
無形固定資産	508	407
投資その他の資産		
投資有価証券	5,677	5,677
その他	1,676	1,666
貸倒引当金	△17	△30
投資その他の資産合計	7,336	7,314
固定資産合計	82,521	84,134
資産合計	144,420	151,136
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,186	20,118
短期借入金	20,562	23,078
1年内返済予定の長期借入金	10,953	12,125
未払法人税等	649	438
役員賞与引当金	134	68
その他	9,979	9,351
流動負債合計	63,465	65,181
固定負債		
社債	2,350	—
長期借入金	23,271	26,276
役員退職慰労引当金	280	90
退職給付に係る負債	987	973
負ののれん	67	64
その他	4,265	4,293
固定負債合計	31,222	31,698
負債合計	94,688	96,879

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,615	6,790
資本剰余金	6,155	7,330
利益剰余金	21,425	23,109
自己株式	△18	△18
株主資本合計	33,177	37,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	740	761
為替換算調整勘定	270	578
退職給付に係る調整累計額	△533	△463
その他の包括利益累計額合計	477	875
非支配株主持分	16,077	16,168
純資産合計	49,732	54,256
負債純資産合計	144,420	151,136

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	90,801	107,511
売上原価	80,008	95,164
売上総利益	10,792	12,347
販売費及び一般管理費	7,759	8,444
営業利益	3,033	3,902
営業外収益		
受取利息	28	37
受取配当金	37	25
持分法による投資利益	214	153
その他	72	103
営業外収益合計	352	320
営業外費用		
支払利息	438	504
為替差損	690	373
その他	26	97
営業外費用合計	1,155	974
経常利益	2,230	3,248
特別利益		
固定資産売却益	12	5
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	15	5
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	14	35
減損損失	36	—
特別損失合計	52	35
税金等調整前四半期純利益	2,193	3,217
法人税、住民税及び事業税	837	992
法人税等調整額	117	△300
法人税等合計	955	691
四半期純利益	1,237	2,526
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	687	1,969
非支配株主に帰属する四半期純利益	550	556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	9
為替換算調整勘定	△6,406	869
退職給付に係る調整額	35	69
持分法適用会社に対する持分相当額	△291	△147
その他の包括利益合計	△6,711	800
四半期包括利益	△5,474	3,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,901	2,367
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,572	959

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,193	3,217
減価償却費	5,048	5,618
減損損失	36	—
のれん償却額	△2	△2
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	—
退職給付に係る資産・負債の増減額	28	19
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2	△190
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△37	△65
受取利息及び受取配当金	△65	△62
支払利息	438	504
為替差損益(△は益)	800	115
持分法による投資損益(△は益)	△214	△153
有形固定資産売却損益(△は益)	△11	△5
有形固定資産除却損	14	35
売上債権の増減額(△は増加)	1,434	△1,379
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,269	△1,032
仕入債務の増減額(△は減少)	△829	△1,216
未払費用の増減額(△は減少)	169	213
その他	△3	△1,631
小計	6,725	3,985
利息及び配当金の受取額	89	99
利息の支払額	△432	△504
法人税等の支払額	△931	△713
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,450	2,866
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,180	△6,443
有形固定資産の売却による収入	72	14
無形固定資産の取得による支出	△112	△36
投資有価証券の取得による支出	△142	△17
投資有価証券の売却による収入	3	—
その他	△8	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,368	△6,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	251	2,142
長期借入れによる収入	9,139	9,501
長期借入金の返済による支出	△6,130	△5,337
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△153	△284
割賦債務の返済による支出	△228	△225
非支配株主への配当金の支払額	△1,253	△868
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△482	△407
セール・アンド・リースバックによる収入	1,086	299
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△403	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,826	4,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	△753	△136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	154	1,054
現金及び現金同等物の期首残高	6,831	5,719
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△110	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,876	6,773

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に該当見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	11,948	54,112	24,740	90,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,070	847	1,275	9,194
計	19,019	54,959	26,016	99,995
セグメント利益	282	1,304	1,518	3,105

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,105
セグメント間取引消去	△71
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,033

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	全社・消去	合計
減損損失	36	—	—	—	36

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	13,393	64,322	29,795	107,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,514	792	1,464	12,771
計	23,907	65,114	31,260	120,282
セグメント利益	935	727	2,297	3,960

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,960
セグメント間取引消去	△57
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,902

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。